

平成17年度全国女性委員会会議報告

- 期日 平成17年7月16日～17日
- 場所 箱崎、東京シティ・エアターミナル
- 参加者 池下真知子

[会議報告]

1日目

○平成17年度女性委員会活動計画

○3000mSC要項

第10回世界選手権で正式種目として決定され、早狩選手が選考された。国内で関心が低いのは、大会で競技種目になっていないため。地方でもはたらきかけてほしい。要項を各方面に伝えてほしい。

○第23回レディース陸上について

今年度は東京・国立競技場で開催。参加標準記録を変えているので確認を。

○第22回レディース陸上競技大会（熊本陸協 坂梨登美代）

○女子選手へのアンケート報告

「女性競技者の競技環境についての調査研究」

女子選手の強化と支援を進めるためにアンケート調査を実施し、今後に活用。

○パネルディスカッション

「陸上競技にかかわる女性の役割と今後あるべき姿」

陸マガ編集長 児玉育美

スポーツライター 竹林幸江

岡山陸協 津田三保子

広島陸協 竹林幸江

一どのように女性のよさを生かし、陸上競技の世界に力を発揮し、貢献することができるか、その方向性を探る。本人の積極的な意識や努力はもちろん、家庭をはじめ周囲の協力や理解がいかに必要かがうかがえた。

2日目

講演「女性が女性であることを大事にするために」（江夏亜希子）

- ・女性のスポーツ医学について
- ・女性の特性
- ・女子スポーツ選手の3徴（無月経症、摂食障害、骨粗鬆症）
- ・女性の過度なトレーニング
- ・月経周期をコンディションに生かす
- ・スポーツ選手の月経調節
- ・思春期の選手たちに必要な配慮
- ・選手の将来を考えた育成を